

診療科長のご挨拶

昭和大学病院 腎臓内科 ほんだ ひろかず 本田 浩一

腎臓内科の診療領域は蛋白尿・血尿、ネフローゼ症候群、遺伝性腎疾患（多発性嚢胞腎・ファブリー病など）、急性腎障害や慢性腎臓病、水・電解質異常、酸塩基異常などが対象となります。腎炎、ネフローゼ症候群の診療は、腎生検という腎臓の組織を採取する方法で腎疾患の原因と重症度を評価し、臨床的な重症度も考慮して治療しています。腎臓内科に特徴的な治療法には血液透析や腹膜透析、急性血液浄化療法、アフエレシス療法があります。アフエレシス療法は血液から病気の原因と関連する物質を直接除去する治療法で、対象となる疾患は、肝不全、自己免疫疾患、高脂血症、潰瘍性大腸炎、敗血症、多臓器不全、特定の血液疾患、膠原病や神経、消化器、皮膚など多岐に亘ります。血液透析や腹膜透析は末期腎不全患者に実施されます。急性腎障害では持続緩徐式血液濾過(CHDF)に代表される急性血液浄化療法を行っています。



<Profile>

1992年 昭和大学医学部卒業
2002年 スウェーデン Karolinska Institutet 留学
2009年 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 講師
2014年 昭和大学江東豊洲病院内科系診療センター 腎臓内科 准教授
2019年 昭和大学医学部内科学講座腎臓内科学部門 主任教授（現在に至る）

<今後の展望>

我が国の慢性腎臓病患者数は1300万人を有に超えており、昭和大学病院・東病院、地域医療施設に通院する患者さんの多くが慢性腎臓病を合併しています。

慢性腎臓病は末期腎不全や透析に至る疾患であると同時に、心筋梗塞や脳梗塞などの心血管病発症の危険因子となります。その結果、健康寿命の短縮にも影響することになります。慢性腎臓病の進行抑制には早期の介入が重要ですが、自覚症状に乏しく、治療が遅れることが問題となります。また、慢性腎臓病の治療は原疾患別の治療だけでなく、腎疾患の進行過程で共通に生じる合併症も含め、適切なタイミングで集学的な治療を行うことが重要です。多くの慢性腎臓病患者さんの予後向上のために、関連の診療科や地域の先生方と診療科間や病診の連携を強化しながら、腎臓内科としての役割を果たしていく所存であります。



※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしております。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について

今月は「1 年目 臨床工学技士」の神山 拓也（かみやま たくや）さんをご紹介します。



臨床工学技士

【神山 拓也さん】

臨床工学技士を目指した理由を教えてください。

親が医療従事者で、また地元が医療で栄えた町であったこともあり、医療系の職種に就きたいと考えようになりました。そこで、様々な職種を調べる中で、自分の機械工学に対する興味や新しいもの好きな性格と合っており、また本来縁遠いはずの機械と人の仲立ちをするというところに惹かれ、臨床工学技士を志しました。

現在、どのような業務をしていますか。

現在は医療現場におけるタスクシェアの一環として、主に腹腔/胸腔鏡や Da Vinci を用いた手術における器械出し業務を行っています。この他にも、空いた時間には手術室/ICU において使用されている医療機器の点検業務や回路交換、トラブルシューティングの業務を行っています。

今後、どのような臨床工学技士を目指しますか。

私は集中治療領域に秀でた臨床工学技士を目指しています。集中治療領域では循環・呼吸・代謝に関する知識のほか、解剖生理や病気の原因とその治療による影響について考えられることが重要です。そこで、私は現在の業務で人体の構造に関する知識や、術中の処置が及ぼす影響などについての造詣を深めていきます

お知らせ

10 月 14 日(月・祝)の診療体制について

令和 6 年 10 月 14 日（月・祝）の外来診療は以下の通りとさせていただきます。

患者の皆さまにはご不便をおかけいたしますが、何卒ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

対象日	診療状況	
	外来	救急外来
令和 6 年 10 月 14 日（月・祝）	臨時診療 【内科系】・【小児科】 8：30～17：00	救急診療は 通常通り実施します。

※臨時診療日は人員を縮小しているため、専門医による診療を提供できない可能性があることを予めご了承ください。

※臨時診療日は、休日加算および時間外選定療養費（注）（8,800 円）を徴収いたします。

（注）紹介状持参、当院かかりつけで予め来院指定の患者さんは時間外選定療養費の徴収はありません。



8月5日(月)、当院職員に対する荏原消防署からの感謝状贈呈が行われました。これは、令和6年7月5日(金)7:40頃、旗の台駅前において、心肺停止状態に陥り生命の危機に瀕していた傷病者に対し、当院職員4名による迅速・適格な応急救護が実施された結果、救命に至ったものです。本件に関して、荏原消防署より当該職員に対してその功労を称え、感謝状が贈呈されました



左奥から：吉田看護部長、東病院 村上病院長、荏原消防署 落合所長、
大学病院 相良病院長、嶋村薬剤部長

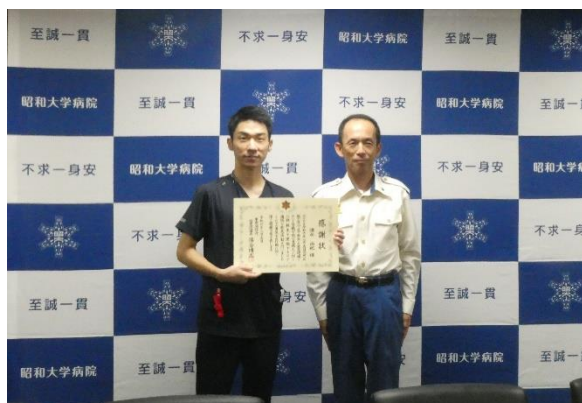
左手前から：佐々木薬剤師、小林看護師、迫理学療法士、清水作業療法士



感謝状を受け取る 小林 看護師（左）



感謝状を受け取る 迫 理学療法士（左）



感謝状を受け取る 清水 作業療法士（左）



感謝状を受け取る 佐々木 薬剤師（左）

トピック

9月7日(土)旗の台一丁目会の祭禮に参加しました

9月7日(土)に旗の台一丁目町会の祭禮が開催され、当院からは相良病院長も参加し、神輿を担ぎ、地域の方々と交流を深めました。この祭禮は、東急大井町線荏原町駅近くにある旗岡八幡神社で、毎年9月に行われる例大祭に合わせて行われるもので、近隣の町会も参加し一斉に神輿を担ぎ地域の安全を祈願しています。

今後も地域交流を大切に、地域に密着した病院づくりに努めていきます。

※例大祭とは…

神社で最も重要な祭典

引用：東京都神社庁



当日の様子

お知らせ

医師の配属・異動・退職について

新規配属

新規採用（令和6年10月1日付）

- 救命救急科 永樂学 ●耳鼻咽喉科 野中由葵 ●消化器内科 大西良尚 ●血液内科 岡村玲子 ●腫瘍内科 平澤優弥
- 整形外科 長崎計・岡田智彰

異動

学外施設へ（令和6年10月1日付）

- 救命救急科 内田泰誠・富田佳賢 ●産婦人科 青木加奈子・南洲杜萌・吉井るい・須貝純・西山香穂・山田理以奈・山内百花・田中紗英子・堀祥子 ●集中治療科 落合雅也 ●循環器内科 千野沙織 ●消化器・一般外科 高木祐希・渡邊健・望月清孝・柴田英貴 ●消化器内科 九里光政・樋口健佑・三井佑太 ●小児科 大根麻梨奈 ●小児循環器内科 立石彩
- 腎臓内科 鈴木智恵香・西村太一・林詩織 ●整形外科 河合謙一郎・福久健人・横田紘幸・酒井愛
- 呼吸器・アレルギー内科 佐藤奈緒 ●糖尿病・代謝・内分泌内科 袴田悠暉・井上直人 ●内視鏡センター 鈴木統大
- 脳神経外科 平戸麻里奈・高野駿 ●脳神経内科 正路大樹 ●泌尿器科 道口彩菜・渡邊裕彦 ●皮膚科 井上華那
- 麻酔科 山口純可



お知らせ

医師の配属・異動・退職について

異動

附属施設へ（令和6年10月1日付）

●眼科 岡部穂奈美（横浜市北部病院へ）、藤井宏行（藤が丘リハビリテーション病院へ） ●救命救急科 岩本泰樹・須郷加奈子・宮本和幸（藤が丘病院へ） ●形成外科 今田陽・渋谷健（藤が丘病院へ） ●産婦人科 前田康大・湯本百香（江東豊洲病院へ）、篠崎美里・中崎駿（横浜市北部病院へ） ●循環器内科 大山祐司（横浜市北部病院へ）、望月泰秀（江東豊洲病院へ） ●小児科 大木真穂（江東豊洲病院へ）、東園綾香（横浜市北部病院へ）、佐々木郁哉（藤が丘病院へ） ●小児外科 ヤクブアブドゥリシディ（江東豊洲病院へ） ●小児循環器内科 高坂和椰（江東豊洲病院へ） ●腎臓内科 寺戸成美（江東豊洲病院へ） ●整形外科 加賀谷聡志・飯田裕太・竹口英人（藤が丘病院へ）、加藤広空・清水翔・宮上真（横浜市北部病院へ）、佐藤太夏・鄭在娟・成瀬莉亜（江東豊洲病院へ） ●乳腺外科 峯陽子（藤が丘病院へ）、風間慎太郎（江東豊洲病院へ） ●麻酔科 梅谷侑未・平木怜奈（横浜市北部病院へ）、栗原葉子（藤が丘病院へ）

学外施設から（令和6年10月1日付）

●産婦人科 河本貴之・宮上景子・馬場彩穂里 ●救命救急科 西山裕木・永樂学 ●耳鼻咽喉科 古川傑・木島由葵 ●循環器内科 山本祐実・石川貴将・鈴木健悟・山下智慶・片桐順史・布施汐理・大西克実 ●消化器・一般外科 大浦敬介・富岡幸大・片山諒・内田祐介 ●乳腺外科 安藤熙典 ●形成外科 渋谷健・宮下宝樹 ●消化器内科 片桐紗也香・高橋傑・坂隆寛・宇佐美智乃 ●整形外科 金兒健太郎・瀬川俊輔・永坂玲央・中田駿作 ●糖尿病・代謝・内分泌内科 小澤秀太郎 ●脳神経外科 山口巖史・松本浩明・入江亮・佐藤悠貴 ●脳神経内科 小菅将太 ●皮膚科 三浦淳 ●小児科 西山裕木・中島論子

附属施設から（令和6年10月1日付）

●眼科 栗岡隆弘（藤が丘リハビリテーション病院から） ●救命救急科 吉田堯生（江東豊洲病院から）、榊原真子・広瀬大輝（藤が丘病院から） ●血液内科 寺居直哉パトリック（江東豊洲病院から） ●呼吸器外科 恩田美樹（江東豊洲病院から） ●産婦人科 犬塚早紀・諸見川愛華（江東豊洲病院から）、窪谷純（藤が丘病院）、菅谷聡美・松田泰介・三田真理子・関谷葵（横浜市北部病院から） ●小児科 西山穂奈美・天野貴也（江東豊洲病院から）、柿佑樹（横浜市北部病院から） ●整形外科 正田遥香・吉山慧・萩原陽（横浜市北部病院から）、佐藤杜英・久保田豊・田口顕太郎（江東豊洲病院から）、軍司秀一（藤が丘病院から） ●脳神経内科 橋爪瞭（江東豊洲病院から） ●脳神経外科 川内雄太（江東豊洲病院から）、藤島裕丈（横浜市北部病院から） ●麻酔科 濱口聖大（藤が丘病院から） ●放射線科 萩原遼太（横浜市北部病院から）、佐伯美帆（藤が丘病院から） ●糖尿病・代謝・内分泌内科 祖父江友里恵（横浜市北部病院から） ●乳腺外科 島田雅之（藤が丘病院から） ●循環器内科 塚本茂人（横浜市北部病院から） ●リハビリテーション科 西田悠（藤が丘リハビリテーション病院から）

退職

令和6年9月30日付

●産婦人科 菊地千尋・宮崎知哉・藤政瑠美子・小林芙美香 ●救命救急科 杉本達也 ●血液内科 林秀憲 ●呼吸器・アレルギー内科 太田進 ●呼吸器外科 武井秀史 ●循環器内科 井村康平 ●小児循環器内科 西村和佳乃 ●消化器内科 野口敏宏 ●腎臓内科 杉山元紀・神林由衣 ●整形外科 宮本康平 ●精神神経科 高塩理



当取り組みは、昭和大学病院・附属東病院において関係職種間での行動（臨床に関する事項）を相互にプラス評価することにより、関係部署との連携を良好にし、**チーム力を高めること**で患者さんにより良い医療を提供することを目的としております。

放射線技術部から看護部・事務部へのありがとう！



受付事務のみなさん

検査室 師長さんへ

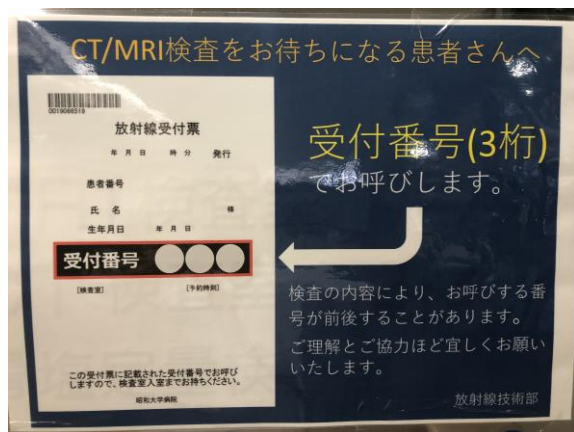
受付事務さんへ

風通しの良い環境づくりをしていただき、放射線検査室の問題点や課題について、いつもご相談にのってくださいありがとうございます。そのおかげで、放射線検査室の運用が円滑に進んでいます。

患者さんの呼出方法を変更した際も、速やかに受け入れ、対応をしてくださり、スムーズに導入ができました。ありがとうございます。

【患者さんに与えた良い影響】

スタッフの働きやすさが向上し、患者さんへの丁寧で安心感のある対応が実現しています。



放射線検査室(CT/MRI 検査室)担当の看護師のみなさんへ

病院により緊急検査が多い関係上、待ち時間の長い患者さんに対し、心配りや声がけをしてくださり、ありがとうございます。

【患者さんに与えた良い影響】

検査に対して待ち時間に伴う不安や疑問をお持ちの患者さんに、心配りや声がけをすることで、不安が軽減し、安心して検査にのぞんでいただけます。

放射線検査室(CT/MRI 検査室)担当の看護師のみなさん

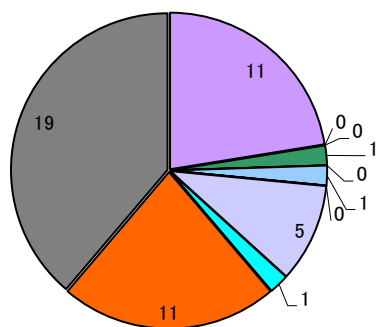
日頃よりチーム医療にご協力頂きありがとうございます。今後とも、よろしくお願いいたします。

患者さんのご意見・ご要望

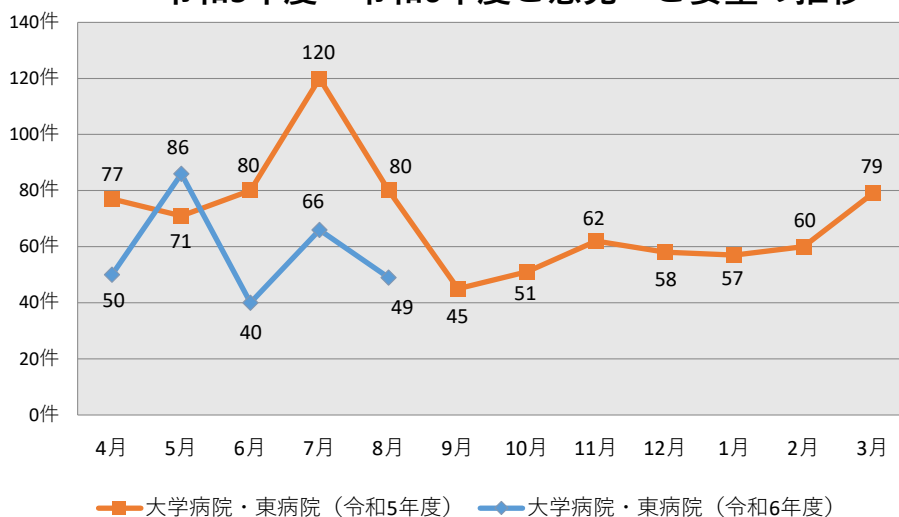
ご意見・ご要望	回答	回答 部署
助産師さん、婦人科の先生や受付の方皆さんにとっても親切にいただきました。とても感謝しております。昭和大学病院産婦人科でお世話になり、心からよかったですと思いました。	この度は心温まるご意見をいただき、誠にありがとうございます。 当院の体制にご満足いただけたこと、また感激していただけたことに、私たちも大変嬉しく思います。	産婦人科
17 階入院時、駐車場が満車であり不便だった。	この度はご不便をおかけして申し訳ございません。駐車場の運用につきまして、入院棟 17 階専用駐車場の確保は行っておりませんが、前日の入院棟 17 階入院予定人数分の駐車場を確保し、当日の駐車は可能となるように運用を変更させていただきました。	管理課

令和5年度・令和6年度ご意見・ご要望の推移

令和 6 年 10 月号掲載分
ご意見・ご要望の内訳
昭和大学病院・東病院総件数
40 件



- 態度・接遇
- 診療内容
- 予約
- 待ち時間
- 食事
- 会計システム
- 売店
- 環境(清掃・設備備品・エレベーター)
- 環境(駐車場)
- 感謝
- その他





中央棟 1 階正面玄関にて季節の飾り付けを行いました。

今回のテーマは秋の訪れです。

今後も季節に合わせて、飾りつけを行う予定です。ご来院の際は、ぜひご覧ください。

編集後記

薬剤部 ^{なみき}並木 ^{みかこ}美加子

実りの秋を迎え、豊かな収穫を願う一方で、昨今の自然災害が収穫量や品質に大きな影響を及ぼしています。また、医薬品の供給も災害時には滞ることが懸念されます。被災直後に通常の医療を受けることが難しい状況では、普段服用（使用）している薬を避難時に持ち出せるよう備えておくことが重要です。当院では、災害時に備え、定期的な訓練と地域連携をはかり、代替医薬品の提供や情報共有を通じて、適切な医療が提供できるよう引き続き努めて参ります。



昭和大学病院

検索



昭和大学病院附属東病院

検索

発行 昭和大学病院、昭和大学病院附属東病院

発行責任者 昭和大学病院長 相良 博典

編集責任者 広報委員長 山岸 昌一

〒142-8666 東京都品川区旗の台 1-5-8

TEL：03-3784-8000（代表）

昭和大学病院・附属東病院の理念

- 患者本位の医療
- 高度医療の推進
- 医療人の育成

昭和大学病院・附属東病院の基本方針

- 患者さんと共にチーム医療を実践する。
- 特定機能病院及び地域の基幹病院として高度急性期医療を推進し、質の高い医療を提供する。
- 教育病院としての機能を充実し、質の高い医療人の育成を行う。
- 人間の尊厳及び人権を守りつつ、高度な臨床研究を実践する。

※記事見出しの色分けについて

病院だよりでは、見出しに色分けをすることで読者の皆さまが読みやすいよう工夫をしています。

黄色見出し：患者さん、患者さんのご家族向け

青色見出し：医療関係者向け

緑色見出し：医師の配属・異動・退職について